



宮脇淳子
Miyawaki Junko

世界史のなかの 蒙古襲来

モンゴルから見た
高麗と日本

世界史のなかの蒙古襲来
モンゴルから見た
高麗と日本



9784323070827



1920093013000

ISBN978-4-594-08241-3
C0095 ¥1400E

扶桑社
定価：[本体1,400円]+税

宮脇淳子

(みやわき・じゅんこ)

1952年、和歌山県生まれ。京都大学文学部卒、大阪大学大学院博士課程修了。博士(学術)。専攻は東洋史。東京外国語大学・常磐大学・国士館大学・東京大学などの非常勤講師を歴任。最近では、ケーブルテレビやインターネット動画で、モンゴル史、中国史、韓国史、日本近現代史等の講義をしている。著書に『モンゴルの歴史』(刀水書房)、『最後の遊牧帝国』(講談社)、『世界史のなかの満洲帝国と日本』(ワック)、『真実の中国史 [1840-1949]』(ビジネス社)、『韓流時代劇と朝鮮史の真実』、『日本人の知らない満洲国の真実』(ともに小社刊)、『日本人のための世界史』(KADOKAWA)



宮脇淳子

扶桑社

●装画：「蒙古襲来絵詞」より

強国モンゴルに必死に取り入り、「元」の日本遠征に自ら名乗りをあげた
当時の高麗と現代の朝鮮半島の姿は、
いろいろな面でオーバーラップする……

対外的に反省しすぎると世界では「弱い」とみなされる
——二度の「元寇」から日本は何を学んだのか——

扶桑社 定価：[本体1,400円]+税

海を渡ってやって来たのは 本当にモンゴル人だったのか!?

宮脇淳子

扶桑社

- 【本書の内容】
- 第一章 ● 日本人のモンゴル観
 - 第二章 ● モンゴルとは
 - 第三章 ● 高麗とは
 - 第四章 ● 蒙古襲来前夜
 - 第五章 ● 大陸から見た元寇
 - 終章 ● その後



世界史のなかの蒙古襲来

読者アンケートのお願い

下記QRコード、もしくは扶桑社のホームページより、本書の感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から、毎月抽選で10名の方に1000円分の図書

カードネットギフトをお贈りさせていただきます。



← 詳しくはこちら

